

機能毎の方向性と将来イメージ案

施設機能分類と対象施設について

資料3-1

	施設機能分類	対象施設	特記
1	庁舎・窓口施設等	市庁舎、市民センター(6)、連絡所(5)、土木公園サービスセンター、市民フォーラム	市民センター・市民フォーラムについては、集会施設機能も備えているため両機能で記載している。
2	防災施設	消防器具置場(38)、災害備蓄倉庫(6)	
3	文化ホール施設	町田市民ホール、鶴川緑の交流館	市民利用が前提の集会施設と異なり、文化振興を目的に興行利用が可能なホール施設をさす。
4	集会施設	市民センター(6)、コミュニティセンター(7)、市民フォーラム	市民センター・市民フォーラムについては、庁舎・窓口施設機能も備えているため両機能で記載している。
5	その他集会施設	コミュニティセンター忠生、さかいがわ会館、山崎団地集会所、鶴川さるびあ会館、小川農事センター、原町田6丁目若葉会館、さくらんぼホール	
6	図書館	図書館(8)	
7	美術館・博物館等	国際版画美術館、市立博物館、本町田遺跡公園多目的施設、町田市民文学館ことばらんど、自由民権資料館、町田市考古資料室、ふるさと農具館	
8	生涯学習施設	生涯学習センター、生涯学習センター陶芸スタジオ	
9	その他展示等施設	町田市フォトサロン、旧荻野家住宅、旧永井家住宅、村野常右衛門生家	
10	学校	小学校(42)、中学校(20)	
11	その他教育施設	教育センター、旧忠生第六小学校	
12	医療施設	市民病院、旧町田市立看護専門学校	
13	高齢者福祉センター	ふれあい館(6)	
14	その他高齢者福祉施設	デイサービス(9)、高齢者在宅サービスセンター(2)、成瀬あおぞら会館、わくわくプラザ町田	
15	障がい福祉施設	町田ダリア園、町田リス園、大賀藕絲館、町田市授産センター、ひかり療育園、わさびだ療育園、グループホームはるかぜ、町田ゆめ工房、こころみ、町田市せりがや会館、木曽福祉サービスセンター	
16	保健施設	保健所中町庁舎、健康福社会館、保健センター(2)	
17	市営住宅	市営住宅(6)、シルバーピア(2)	
18	保育園・児童発達支援センター	保育園(5)、すみれ会館	
19	子どもセンター・子どもクラブ	子どもセンター(6)、子どもクラブ(2)	
20	学童保育クラブ	学童保育クラブ(41)	
21	供給処理施設	境川クリーンセンター、リレーセンターみなみ、南収集事務所、町田リサイクル文化センター、資源化施設、排水浄化センター、町田市剪定枝資源化センター、リサイクル広場まちだ	
22	下水道施設	成瀬クリーンセンター、鶴見川クリーンセンター、鶴川ポンプ場	
23	スポーツ施設	総合体育館、室内プール、サン町田旭体育館、小野路球場、陸上競技場、成瀬クリーンセンターテニスコートクラブハウス、クラブハウス(4)	
24	レクリエーション・観光施設	町田自然休暇村、大地沢青少年センター、青少年施設ひなた村、七国山ファーマーズセンター、市民農園管理棟(2)、小野路宿里山交流館	
25	産業系施設	プラザ町田、町田新産業創造センター、町田ターミナルプラザ	
26	駐車場・自転車等駐車場	自転車等駐車場(10)、駐車場	駐車場と自転車等駐車場の複合施設が1施設ある。

※カッコ内の数字は施設数

機能毎の方向性と将来イメージ案（一覧）

施設機能	今後の方向性	方向性の実現に向けた主な手法	ねらい・将来イメージ
1 庁舎窓口施設等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 施設が担うべき機能やサービス提供のあり方等を検討する。 ✓ コンビニエンスストアでの証明書発行機能を拡大し、連絡所と市民センターの配置と機能のあり方を検討する。 ✓ 建物の長寿命化に向けた大規模改修等を計画的に実施する。 ✓ 行政サービスや職員数の減少に応じて空いたスペースは、適宜他の用途に転用して有効活用する。 	集約化 複合化・多機能化 長寿命化 PPP/PFI 他自治体連携 市有財産の活用	○マイナンバー制度の進展やコンビニエンスストアでの証明発行機能の拡大により、行政窓口へ出向く手間が最小限になり、より簡便かつ身近にサービスを受けられるようになる。 ○行政窓口だけでなく、他のサービスも一度に受けられることができる地域拠点機能を強化する。
2 防災施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 建物は耐用年数まで利用できるよう、必要な施設修繕を計画的に実施し、適切な建替えを行っていく。 ✓ 不足する防災施設は、他の公共施設の余剰スペースや民間倉庫等を活用して確保する。 	長寿命化 市有財産の活用	
3 文化ホール施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 民間ノウハウを活かした管理運営により、収益性の向上を図る。 ✓ 会議室などの利用率の低い機能は、転用等を含めた見直しを行う。 ✓ 建物の長寿命化に向けた大規模改修等を計画的に実施する。 	長寿命化 PPP/PFI 市有財産の活用	○施設運営に民間ノウハウを効果的に取り入れることで、より経営的な観点で管理運営できると同時に、これまで以上に魅力的な付加サービスを提供します。 ○公共施設に限らず文化芸術に関連した他の施設とのネットワークを形成し、地域との連携強化や町田発の文化芸術の育成を図ります。
4 集会施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 利用率の低い夜間帯の施設利用のあり方を検討する。 ✓ 集会機能及び集会機能と類似する機能の整理を行い、施設の集約または複合化を図る。 ✓ 施設ごとのサービスのあり方や管理運営手法等を見直す。 ✓ 公平かつ社会環境に適合した受益者負担の適正化を図る。 	集約化 複合化・多機能化 民による公共・公益サービス	○複合施設へ機能移転することで、集会機能以外のサービスに触れる機会が生まれ、利便性が高まると同時に、そこでの新たな交流や活動のきっかけが生まれます。 ○活動や交流が活発になることで、一層の地域コミュニティの強化や高齢者等の健康増進が図られます。
5 その他集会施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ その他集会施設は、本来地域が所有する施設であるため、今後の施設の修繕や建替えの方向性については、地域で検討及び判断し、地域で維持管理していく。また、その実現のための支援の方法を検討する。 	市民・地域連携 民による公共・公益サービス	
6 図書館	<ul style="list-style-type: none"> ✓ さるびあ図書館及び鶴川図書館は配置が近接している中央図書館及び鶴川駅前図書館へ集約を検討する。 ✓ 複合施設でない地域館は周辺学校の大規模改修や建替えの時期を捉えて、複合化する。 ✓ 効率的・効果的な図書館サービスの提供について検討する。 	集約化 複合化・多機能化 他自治体連携 民による公共・公益サービス	○図書館機能を学校をはじめとした地域の活動拠点に移転することで、より多くの人が図書に触れる機会を創出します。 ○地域の活動拠点では他機能と連携し市民の活力を活かした、図書に関連した新たなサービスが創出されます。
7 美術館・博物館等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 町田市の文化や歴史を伝える資料は、収蔵品を整理しつつ、収蔵庫については既存施設を活用して集約化を図り維持管理コストを削減する。また、展示スペースの集約化を検討するとともに展示機能の魅力向上を図る。展示機能については施設間協力などをすすめ、アウトリーチ※展示も検討する。 ✓ 国際版画美術館及び(仮称)国際工芸美術館は、他施設からのアウトリーチによる展示などの受け皿として活用を検討する。 <p>※アウトリーチとは、地域への出張サービスのこと。</p>	集約化 市有財産の活用	○町田市の文化や歴史を伝える資料の集約により、より魅力的な展示をすることができ、多くの人が文化や歴史に触れる機会を提供することで、市民の市への愛着の醸成、教育、生涯学習などに寄与していきます。 ○アウトリーチ展示によって、特定の施設だけではない場所で文化に触れる機会が増えます。 ○国際版画美術館及び(仮称)国際工芸美術館は、公園の空間や賑わいと一体となった文化・芸術活動の拠点となっており、魅力的な展示やイベントを開催することで市内外から多くの人が集まります。
8 生涯学習施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域での事業展開を強化し実施する。 ✓ 生涯学習センターは生涯学習機能だけではなく、中心市街地における集会機能としての役割も大きいことから、学習活動に限定しない施設として再編を検討する。 ✓ 陶芸教室は終了を検討する。 	集約化 市民・地域連携 市有財産の活用 民による公共・公益サービス	○生涯学習センターを生生涯学習拠点に据えながら、地域への事業展開により、これまで以上に身近な場所で生涯学習に触れることができます。 ○生涯学習センターの建物をこれまで以上に多機能に活用し、中心市街地の活動拠点となります。
9 その他展示等施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 建物は、町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画に沿い、転用・活用する。貸し展示スペースは他施設で代替えし、建替えは行わない。 ✓ 旧家は適切に維持保全していく。 	市有財産の活用	
10 学校	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 建物の大規模改修や建替えを計画的に実施する。 ✓ 段階的に必要な適正規模・適正配置を実施する。 ✓ 教育活動で使用しない教室数の状況や建物の大規模改修・建替えの時期を捉え、周辺の公共施設等の複合化を実施する。 ✓ 教室の未利用時間の積極的な活用を図る。 	集約化 複合化・多機能化 長寿命化 市有財産の活用	○児童・生徒数の減少に併せて適正な学校規模を維持するとともに、地域の拠点となり、多世代で多様な人々の交流や公益的なサービスが展開される場としていきます。
11 その他教育施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 教育センターは利用面積を圧縮し、空いたスペースを現在行っている主な事業と親和性のある他機能の受け皿として利用する。複合化する機能が無い場合は、大規模改修や建替えの際に施設規模を縮小する。 ✓ 旧忠生第六小学校は民間活力による効果的・効率的な施設活用を検討する。 	複合化・多機能化 PPP/PFI 市有財産の活用	
12 医療施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 建物の長寿命化に向けた大規模改修等を計画的に実施する。 ✓ 建物の改修や建替えの際はPFI等の手法導入を検討し、施設整備にかかる費用の削減を図る。 	長寿命化 PPP/PFI	
13 高齢者福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市民センターや学校等の地域の活動拠点において、介護予防等各種講座の実施や高齢者の居場所づくり地域展開を図る。 ✓ 高齢者専用施設は建物の建替えは行わない。 	市有財産の活用	○専用(固定)の施設によるサービス提供から、建物とサービスを切り離し、ソフト化を図ることで、より多くの場所でサービスを展開し、行動範囲が狭くなりしがちな高齢者の方が、より身近な場所でサービスを受けられる機会を増やします。 ○高齢者の居場所づくりについても「高齢者」に限定した居場所ではなく、高齢者を含めた多様な世代・目的の方が集える場へ転換することで、人と人との交流やつながりを促します。

施設機能	今後の方向性	方向性の実現に向けた主な手法	ねらい・将来イメージ
14 その他高齢者福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ デービス、在宅サービスセンターは賃貸借化、譲渡等を含めたあり方を検討する。 ✓ わくわくプラザと成瀬あおぞら会館は、他の公共施設と複合化し単独機能での建替えは行わない。 	複合化・多機能化 市有財産の活用 民による公共・公益サービス	
15 障がい福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 施設の譲渡を含め、民間活力の活用策を検討する。また、民間の運営する施設への代替性がある施設については廃止する。 	民による公共・交益的サービス	○公共や民間の施設に関わらず、様々な場面で適切な支援を受けながら、誰もが社会の一員として、ともに育ち、働き、暮らしていくことができます。
16 保健施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 診療所の区画外を、診療所の事業に支障のない範囲で有効活用する。 ✓ 建物の建替え時期を捉えて、健康福祉会館と保健所中町庁舎を集約化する。 ✓ 健診事業等の巡回健診実施の可能性を検討する。 	集約化 市有財産の活用	○健康福祉会館と保健所中町庁舎の施設集約化により、保健所機能の集中化が図られ、ワンストップサービスによる利便性を高めます。 ○施設の集約により、初期救急提供体制の検討等、医療と保健の連携強化が図られます。
17 市営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 建物の大規模改修や建替えの際は、人口や低額所得者数の動向に合わせて、施設を適正な規模に縮小する。 	LCC削減	
18 保育園・児童発達支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保育園は必要な施設規模に見直し、周辺の学校等の大規模改修や建替えの時期を捉えて、条件が整ったところから複合化する。 ✓ 建物は単独機能での建替えは行わない。 ✓ すみれ教室は、事業内容と連携しやすい他の公共施設と複合化する。 	複合化・多機能化	○学校に複合化し、他機能との連携や多世代の人々との交流が充実することで、保育園を更に魅力的で利便性の高い地域の子育ての拠点としていきます。
19 子どもセンター・子どもクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子どもセンター・子どもクラブの役割を明確化しながら、新たな出会いの場や魅力的な体験の提供ができるようなサービスのあり方を検討する。 ✓ 子どもセンターは中長期的には周辺の公共施設の更新時期を捉えて複合化し、単独での建物の建替えは行わない。その際、児童が自由に来館し、遊べる環境の確保、セキュリティへの配慮、乳幼児の保護者も利用しやすいようつくりに留意する。 ✓ 子どもクラブの増設は新たな建物を建てる方法だけではなく、他の公共施設の転用や既存スペースを有効活用することを検討する。また、今後の年少人口の減少を踏まえて、整備費用やその後の維持管理費用が少ない手法や建物の可変性等の工夫を検討する。 	複合化・多機能化 LCC削減 市民・地域連携 PPP/PFI 市有財産の活用	○学校等が地域・民間・公共の活動拠点となることで、そこに複合化する子どもセンターを他機能との連携や多世代の人々との交流が充実する、更に魅力的で利便性の高い子どもの遊び場や居場所・乳幼児の子育ての場としていきます。
20 学童保育クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保育スペースが不足する学童保育クラブを拡張する際や、小学校の大規模改修や建替えの時期を捉えて、校舎内に複合化する。 ✓ 建物は単独機能での建替えは行わない。 	複合化・多機能化 市有財産の活用	○学校が地域・民間・公共の活動拠点となることで、そこに複合化する学童保育クラブを他機能との連携や多世代の人々との交流が充実する更に魅力的で利便性の高い児童の育成の場としていきます。
21 供給処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 町田リサイクル文化センターの建替えは、DBO事業方式により、民間事業者のノウハウを活用し、運営費用の軽減等や更新費用の低減を図る。 ✓ 資源ごみ処理施設の整備は、2地区での施工となることと、用地の取得や関連事業との調整が生じる事より、手続きに関するスケジュールが短期間で柔軟に対応できる公設公営で実施する。 ✓ プラントや建物の維持管理を適切に行い、長期的な観点でコストダウンを図る。 	LCC削減 PPP/PFI	
22 下水道施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 資金を計画的に確保し、施設の維持のために必要な改修や修繕を行っていく。 ✓ 運営のコスト削減に向けて、アセットマネジメントを着実に実行する。 	LCC削減 長寿命化	
23 スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 建物の長寿命化に向けた大規模改修等を計画的に実施する。 ✓ 利用料金の見直しや、民間ノウハウを活かした管理運営等により、収益性を向上させる。 ✓ 学校等、既存施設の効果的な活用を図る。 	長寿命化 PPP/PFI 市有財産の活用	○地域の活動拠点となる学校でのスポーツ活動が盛んになることで、より多くの人にスポーツに触れる機会を提供する。 ○施設運営に民間ノウハウを効果的に取り入れることで、より経営的な観点で管理運営できるとの同時に、これまで以上に魅力的な付加サービスを提供する。
24 レクリエーション・観光施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自然休暇村は収入源確保の取り組みを進める。 ✓ 大地沢青少年センター土砂災害特別警戒区域への指定及び施設老朽化を踏まえ、建物自体(ハード)及び実施事業(ソフト)の両面から事業を見直す。 ✓ ひなた村は役割を再検討し、事業を見直す。施設の管理・運営については、民間活力の導入や、市民との協働等の手法の検討を進めるなど、新たな付加価値を創出するとともに、効率的な運営を行う。 ✓ ひなた村のホールなどの集会機能は、周辺の学校の大規模改修や建替えの時期を捉えて複合化し、建物の建替えは行わない。 ✓ 七国山ファーマーズセンターは、町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画に沿い、民間のノウハウを活用することを含め運営方法を検討する。 ✓ 市民農園の休憩室や倉庫は、附帯施設として活用をする。 ✓ 小野路宿里山交流館は、適切に維持管理する。 ✓ 集客施設の建替えや新たな施設整備等をする場合は民間による手法を導入する。 	複合化・多機能化 市民・地域連携 PPP/PFI	○民間活力の導入や更なる活用により、これまで以上に満足度の高い施設へ転換し、レクリエーションや観光施設として賑わう場としていきます。
25 産業系施設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 町田新産業創造センターの建物を建替える際には、民間活力の導入を進めるとともに、他の産業支援機能等と複合化する。 ✓ プラザ町田(町田市文化交流センター)は、中心市街地全体の貸し会議室機能の需要動向を見ながら、廃止も含めた抜本的な見直しを行い、収益増加を図る。 ✓ 町田ターミナルプラザは、空き店舗の用途変更も含めた活用や観光バスの利用台数に見合った運営体制の構築など収支のバランスを取る。建替えの際には、民間活用を含めた検討を行う。 	複合化・多機能化 PPP/PFI 市有財産の活用	○民間活力を導入することによって、より多くの起業家の創出や、若い世代が活躍する魅力的な機会や場を創出します。 ○現状にとらわれずに機能を見直していくことによって、収益増加を図るとともに、賑わいや交流を創出します。
26 駐車場・自転車等駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 運営費のコストダウン及び収益増加を図る。 ✓ 施設更新の際は、土地の貸し付け、整備、長期の維持・管理まで含めた民間活用を検討する。 ✓ 市で建替えをする際には、需要に見合った延床面積とする。 	LCC削減 PPP/PFI	